

# 花色と香気に特色のある マーガレット品種群の育成と産地振興

稲葉 善太郎 氏 (59歳)

静岡県農林技術研究所  
伊豆農業研究センター長



## 1 業績の概要

### 背景

マーガレットは昭和3年に伊豆地域に導入され、産業の少ない当地ではマーガレット切り花が貴重な換金作物として90年間栽培されてきた。一方、平成元年以降のガーデニングブームにより鉢物用マーガレットが注目され、静岡県東部地域にマーガレット鉢物産地形成の機運が高まり、鉢物用新品种の育成が要望されることとなった。

### 研究内容・成果

マーガレットは夏季の高温による開花抑制、立枯れ症状の発生により、年内の安定生産が困難であることから、平成4年4月から20年以上にわたり耐暑性・高温開花性品種の開発を中心に育成を進めるとともに、産地への普及・生産指導を行ってきた。

これにより、海外で育成された品種との明確な差別化を実現し、9月以降の切り花および鉢物用マーガレットの安定出荷を実現した。また、世界で初めてハナワギクとの属間雑種の育成に成功して新たな色素成分をマーガレットに導入、さらに突然変異源を活用して花色の幅を拡げてオレンジから深紅の品種を育成した。ハナワギクとの属間雑種では、芳香性品種の育成に成功し、酢酸ラバンジュリル、ラバンジュオール、リナロールなどラベンダー様の芳香成分を花卉に有する品種を産地に普及するなど、特筆すべき育種成果を上げた。



「在来白」の立枯れ

耐暑性高温開花性  
切り花用品種育成



「サザンエレガンスホワイト」



ハナワギクとの属間雑種の育成



X線照射による花色変異



### 普及状況

多彩な花色や特徴ある花型、芳香性などの35品種を育成、出願登録した。切り花、鉢物ともに秋季からの安定出荷、鉢物では静岡県東部地域での新産地形成に寄与した。また、芳香性品種の「風恋香」など鉢物4品種、切り花1品種がフェンロー国際園芸博覧会2012（フロリアード）で特別賞を含む金賞以上を獲得するなど、国内外で高く評価されている。稲葉氏の育成品種の最大の特徴は、耐暑性と秋から安定出荷できることである。産地では、育成品種を活用して、平成26年度には切り花92万本、鉢物60万鉢が出荷され、京浜市場では切り花が第1位、鉢物が第2位の出荷量となっている。

## 2 評価のポイント

鉢物用品種の産地化を連携してきた静岡県東部花卉流通センター農協は、その功績により平成28年度日本フラワービジネス大賞を獲得した。切り花では、主産県の静岡県と香川県の産地連携による販促活動で育成品種を活用するなど、産地を活性化する活動につながったほか、香川県では高温対策のため稲葉氏の育成品種の試験栽培に取り組んでいるなど、マーガレットの産地振興に貢献したことを高く評価した。